

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	3	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり
5年後の まちの姿	○若者が結婚・妊娠・出産の希望を叶え、市内には新しい家族や子どもが多く暮らしています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、結婚・家族の在り方等に関する啓発を行うとともに、結婚・妊娠・出産に関する市民の希望を叶えるサポートを行います。 市民等は、若者に対するライフデザインの学びの機会や出会いの場にもなるような空間・イベントづくりに協力します。	
実現に向けた 取組	①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供 ②市民による自主的な活動の育成・支援 ③活動拠点の整備	
施策担当課	総合政策課	
施策関係課・係	健康づくり課 子育て応援係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	4,117	6,032	3,415		
事務事業数	2	2	2		
うち、事務事業評価対象	1	1	1		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
出会い等に関するイベント等の市民参加割合	%	23.9	20.9	19.6	22.4			30.0
ライフデザインセミナーの参加者数〔年間〕	人	97	46	53	70			100
出産後、助産師・保健師等からの指導を十分に受けることができたと答える人の割合〔年間〕	%	96.7	95.8	95.5	95.9			97.0

成果指標による 現状分析	<p>出会い等に関するイベント等の市民参加割合については、平年並みの実績である。令和6年度の募集人員80人に対して83.7%の集客という状況であった。市報、HP、SNS、チラシ、ポスターなどの媒体で周知に努めている。</p> <p>ライフデザインセミナーの参加者数〔年間〕については、2つの事業を行った。ライフデザインセミナーでは、平年並みの実績である。令和6年度の募集人員100人に対して62人（62%）の集客という状況であった。市報、HP、SNS、チラシ、ポスターなどの媒体で周知に努めている。</p> <p>赤ちゃんふれあい教室では、中学校へ事業の周知や参加の声かけを行い8人の参加があった。遠方からの参加者には、送迎車の手配をするなど参加しやすい環境づくりに努めた。参加者からは「生命の尊さを学ぶことができた」「育児は大変というイメージがあったが、大変ながらも楽しくやりがいがあるというイメージに変わった」などの声が聞かれ、今後も継続して事業を実施していく必要がある。</p> <p>「出産後、助産師・保健師等からの指導を十分に受けることができたと答える人の割合」の指標については、目標に近い結果が得られている。これは、妊娠届出時の保健師または助産師による全数面談や、出産前に電話等で出産に向けた準備や心配事への相談支援を行ったり、出産後に産婦新生児訪問を行い、母の体調や育児についての相談・助</p>
-----------------	---

	<p>言を行っていることや、必要に応じて医療機関に情報提供をし、支援方法について相談するなどの連携を図っていること等の成果であると思われる。一方で100%とならないのは、「どちらともいえない」と答えている方が若干名いるためである。これは、「出産後」の期間を「産後概ね1か月程度」と設定しているため、未熟児でお子さんが入院中であったり里帰りの関係で支援のタイミングが1か月を超えるケースがあることや、「保健師助産師からの指導」や「十分な指導」の捉え方がさまざまであることで「どちらともいえない」と回答していることが一因だと考えられる。</p>
--	--

3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	<p>◇出産後、「助産師や保健師等からの指導を十分に受けることができた」と答える人の割合は、ほぼ目標値に達している。一方、出会い等に関するイベントやライフデザインセミナーの参加状況は、基準値には及ばない状況ではあるが、女性が参加したくなる要素を打ち出したイベントや、出会いを全面に押し出さない気軽に参加できるようなイベント等内容を工夫していく中で、参加者数については徐々に増えてきている。SNS等も活用し必要な人に必要な情報を届けられるよう、本事業の認知度を向上させ、参加状況の改善を図るとともに、事業のあり方が真に求められているものとなっているのか絶えず検証していく必要がある。</p>

4 取組の状況と今後の方向性

① 出会いの場づくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・県事業である「ハートマッチにいがた」を通じて、登録者の出会いをサポートします。 ・定住自立圏事業として、婚活イベントや個別相談会等を開催します。
これまでの主な取組と実績
<p>◇「ハートマッチにいがた」については、市報やHP、SNS、ポスター掲示により周知を行ってきている。令和5年度からは登録料の半額助成制度を開始した。R5:3人 R6:1人</p> <p>◇市単独では集客に限界があること等を踏まえて定住自立圏として2市1町で取り組んでいる。</p> <p>【婚活イベント】R4:2回開催、67人（うち市内 男性7人、女性7人）、R5:2回開催、51人（うち市内 男性5人、女性5人）、R6:2回開催、67人（うち市内 男性8人、女性7人）</p> <p>【個別相談会】R4:4回開催、29人（うち市内 男性5人、女性1人）R5:4回開催、25人（うち市内 男性3人、女性0人）、R6:4回開催、29人（うち市内 男性2人、女性0人）</p> <p>【ハートマッチ共催】R4:8回開催、60人（うち市内 男性9人、女性2人）、R5:8回開催、31人（うち市内 男性12人、女性1人）、R6:8回開催、16人（うち市内 男性2人、女性0人）</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇「ハートマッチにいがた」の登録者数の低迷は全県的な課題であり、県としても使いにくさなどの様々な改善を図っていくとのこと。よりよくなった点などを的確に発信し、必要とする人に情報を届けていく。</p> <p>◇真に情報を必要とする人に届くようにすることが課題であり、効果的な方法を検討し、更なるアウトリーチを行っていく。</p>

② 結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・学生や未婚者を対象にライフデザインセミナー等を開催して、若者が結婚・妊娠・出産を含めた将来の人生設計を前向きに考える後押しをします。 ・子育てや教育等に関する支援制度のPR、検診及び医療費の助成等を行うことで不安感や負担感の軽減を図ります。
これまでの主な取組と実績
<p>◇市単独では集客に限界があることなどを踏まえ、定住自立圏として2市1町で取り組んでいる。【ライフデザインセミナー】R4:2回開催、46人（うち市内 男性4人、女性3人）、R5:2回開催、43人（うち市内 男性3人、女性1人）、R6:2回開催、62人（うち市内 男性1人、女性5人）</p> <p>◇妊産婦全員に対し、妊産婦健康診査の受診費用を助成し、全ての妊産婦が必要な健診を受診できるよう支援している。また、妊産婦医療費助成事業を行い、妊娠・出産期の医療費負担の軽減を図っている。</p>

主な課題と今後の対応
<p>◇真に情報を必要とする人に届くようにすることが課題であり、更なるアウトリーチが可能となるよう、効果的な方法を検討していく。</p> <p>◇妊娠期から子育て期までの健診費用や医療費助成を引き続き行い、安心して子どもを産み育てられるよう支援を行っていく。</p> <p>妊娠届出時に保健師または助産師の面談を全妊婦に実施し、支援を要するケースを早期に把握できるようにしている。今後も相談体制の充実を図り、関係機関との連携を密にし、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行っていく。</p>

③ 妊娠・出産を支える相談・医療体制の充実

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの切れ目のない相談しやすい関係づくりやパパママ学級の実施により、手厚い相談・支援体制を構築し、妊娠・出産に対する不安の解消や母子の健康の増進を図ります。 ・安全で安心できる妊娠・出産のため、市内及び周辺の医療関係者と連携を図りながら周産期医療体制の整備に取り組みます。
これまでの主な取組と実績
<p>◇妊娠届出時から出産までの間、保健師又は助産師が面談や電話、アンケート等で全妊婦の状況や困りごとを把握し、必要な助言を行っている。</p> <p>パパママ学級では、妊娠・出産・子育てに関する知識だけでなく、病院では体験できないママ同士やパパ同士の交流、妊婦疑似体験なども行っており、参加者から好評である。</p> <p>◇妊娠届出後、支援が必要な妊産婦については医療機関と連携し、情報共有や支援内容・支援方法の検討を行い、安心して出産や子育てができるよう体制を整えている。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇出生数は減少しているが、支援が必要な妊産婦は増加している。妊娠届出時から丁寧に関わり、関係性を築いて支援しやすい体制を整える必要がある。</p> <p>パパママ学級は参加者からは好評であるが、参加者数は増加していない。多くの方に参加してもらえるような工夫が必要である。</p> <p>◇当市には産科や専門医療機関がなく、社会資源も少ないため、利用できるサービスが限られている。出生数は減少しているが、支援が必要な妊産婦は増加しているため、関係機関との連携を図りながら、安心して出産や子育てができるよう体制を整えていく必要がある。</p>

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	<p>◇結婚したい人が成婚に至ることのできるように環境を整えるとともに、安心して出産、子育てができるようにすることが、長い時間軸の中で少子化対策に資するとの施策方針のもと、「4 取組の状況と今後の方向性」に掲げる取組をそれぞれ実施し、体制を整えている。各事業の参加者には好評を得ているが、いずれも参加者数の伸び悩みが見られる。これまで考え得る周知を尽くしているところであるが、今後更なるアウトリーチにより必要な人に必要な情報を届け、本事業の認知度を向上させ、参加状況の改善を図ることのほか、そもそも事業のあり方が真に求められているものとなっているのか絶えず検証しつつ効果的な事業を実施していく必要がある。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
130210	ライフデザイン支援事業	2,915	6,041	○	③	総合政策課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	130210		担当課	総合政策課	担当係	企画政策係	担当者	
事務事業名	ライフデザイン支援事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	13	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり	予算科目	02	総務費
主要施策	3	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり		02	結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援		01	総務管理費
				10	ライフデザイン支援事業		06	企画費
事務区分	法定受託事務	自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け	任意		関連計画	胎内市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
関連例規								

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	若者が結婚、妊娠・出産、子育てなど将来の人生設計を具体的に考える後押しをするため、新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏婚活支援事業として、ライフデザインセミナー、パーティ、個別相談会等を広域連携して実施する。費用は負担金として新発田市に支払う。
主な実施内容	・ライフデザイン講座の開催 ・婚活イベントの実施
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
達成度	○	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
（この欄は空欄です）					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,188	3,544	2,915	6,041	
単位コスト	算出方法 経費（結婚新生活支援事業補助金を除く）／胎内市延べ参加者数（205千円／43人）				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績	4.7千円	8.7千円	6.7千円		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	
	目標	21回	21回	21回	21回	
	実績	16回	16回	20回		
成果指標	名称	講座・イベント等の市民参加割合	講座・イベント等の市民参加割合	講座・イベント等の市民参加割合	講座・イベント等の市民参加割合	
	目標	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
	実績	19.2%	21.7%	16.16%		
	目標比	96.0%	108.5%	80.8%		

6 事業の課題

定住自立圏事業として実施したイベント等への市民申込みは一定数あった。R6年度には胎内市外在住者同士ではあるが、圏域内でイベントをきっかけとした成婚につながる事例も見られた。イベント参加から成婚に至るまで短期的な結果を求めることは難しいことから、引き続き長期的な視点で取組を継続していく必要がある。 また、新たな取組として、婚活イベントの色合いを抑えた社会人向け異業種交流会を実施したが、その周知方法については、今後より効果的な方法を検討していく必要がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組
令和6年度については、女性の集客向上、イベント参加を契機とした圏域内での成婚に至る事例が出るなど、一定の成果が見られた。このため、引き続き、適宜内容の見直しを行いながら、より質の高い支援策を実施していく。成果の見られたイベントの成功要因を分析し、好事例は引き継ぐとともに、さらなる工夫を加えながら、結婚を希望する方々が希望を叶えることができるような婚活イベントや、婚活を意識したライフデザインイベントを提供する。その前段階として、長期的な視点から若年層への意識啓発と、交流を促進する友人づくりの場を提供するなど、より広く長期的な視点からの支援を実施していく。

8 二次評価委員会所見

現在の成果指標は事業の入り口段階での指標にとどまっているため、成婚率や参加者の満足度を成果指標とすべきである。

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	④	
	縮小	×	⑥	④	⑤	
	休廃止	⑦	×	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				